

令和4年度 白馬村の決算状況

一般会計の概要

歳入 69億6,560万1千円
 歳出 67億74万1千円

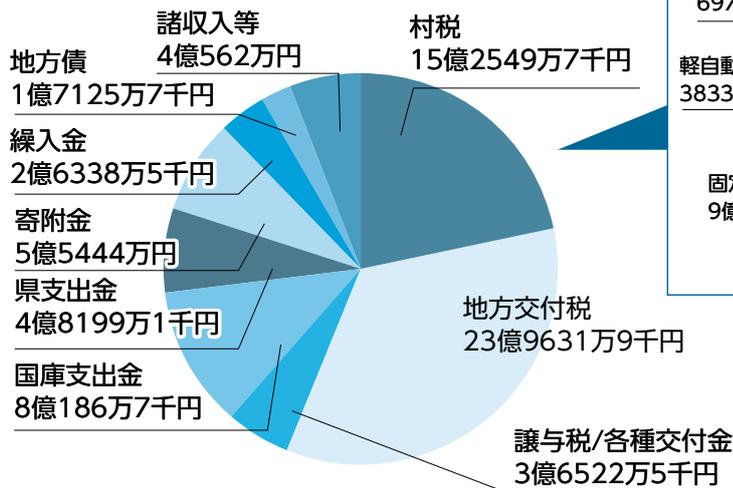
財政健全化の方針を堅持した結果、前年度に引き続き財政調整基金(家計で言うところの貯金)の取崩しをせず、将来の負担に備えるため同基金に1億5,400万円、減債基金に2,600万円、義務教育施設整備基金に1億5,000万円の積立を行っております。なお、全ての基金を合わせた年度末残高は、平成から令和を通じて過去最高額となっております。

また、健全財政の堅持と公債費抑制のため、引き続き新規発行債(新しい借入れ)を元金償還額(借金の返済金)以下とすることにより、村債現在高も前年度比で8.4%の減となりました。

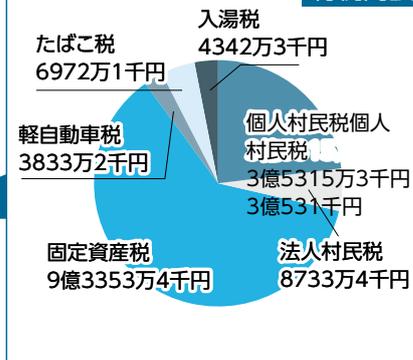
決算収支等

項目	令和4年度(千円)	対前年比(%)
歳入	6,965,601	△0.6
歳出	6,700,741	△2.2
形式収支	264,860	
翌年度へ繰り越すべき財源	52,199	
実質収支	212,661	
単年度収支	72,920	
財政調整基金積み立て	84,488	
実質単年度収支	157,408	

歳入 69億6,560万1千円



村税内訳



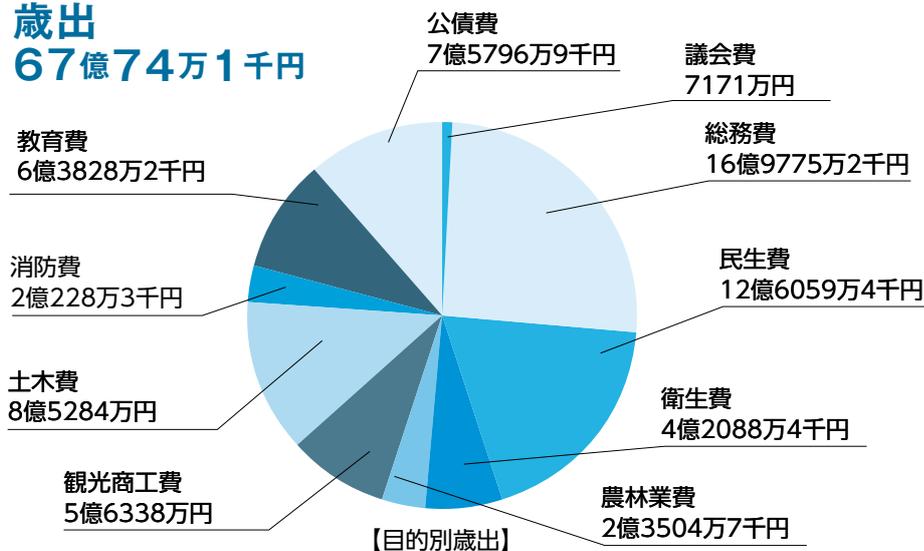
歳入の概要

令和4年度の歳入歳出差引額(形式収支)は2億6,486万円で翌年度へ繰り越すべき財源5,219万9千円を差し引いた実質収支は2億1,266万1千円です。そのうち財政調整基金等への積立を行った残額の8,266万1千円を令和5年度へ繰り越しました。なお、実質収支から昨年度の実質収支を差し引いた単年度収支は7,292万円、単年度収支に財政調整基金積立等を加味した実質単年度収支は1億5,740万8千円となりました。

村税は、2億3,516万7千円の増で15億2,549万7千円となりました。いずれの税目も前年を上回る税収となりました。特に固定資産税については、事業用家屋と償却資産に係る特例がなくなったことにより1億8,630万円あまりの大幅増となりました。地方交付税は、普通交付税と特別交付税がありますが、特別交付税において、除雪費の前年度精算分8,658万2千円が他の減額要因を飲み込む形で、1996万8千円の増となりました。譲与税/各種交付金については、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金がなくなったことにより1億5,715万1千円の大幅な減額です。



歳出 67億74万1千円



国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応
 応地方創生臨時交付金2億1,604万9千円、
 児童手当国庫交付金8,046万7千円が主な
 ものです。
 県支出金は、前年に比べ1億369万8千円
 (27.4ポイント)の大幅増でした。主なものは、
 新型コロナウイルス感染症対策に係る第6波対

応事業者支援金6,910万円、白馬ジャンプ競
 技場管理委託金4,732万円などです。また、
 水力発電施設などの所在市町村への交付金とし
 て電源立地地域対策交付金443万5千円が交
 付されており、当村においては保育所運営経費
 に活用しています。

寄附金は3,216万3千円の増となりました。
 うち、ふるさと白馬村を応援する寄附金は
 5億4,145万9千円でした。

繰入金金は、「ふるさと白馬村を応援する基金」
 から目的に応じた事業へ2億4,198万円を
 繰入れました。

村債は1億7,125万7千円で、令和4年度
 も引き続き新規発行債は元金償還額以下とした
 ため前年度比1億6,034万1千円(48.4
 ポイント)の大幅な減です。

諸収入等には、村税延滞金1,441万9千
 円や北アルプス広域連合からの還付金1,
 948万9千円などが含まれています。

歳出の概要

目的別歳出(行政の目的に従って行われるい
 わば事業別の分類)の状況をグラフに、性質別歳
 出(ごついう行政目的に使われるかは問わず、い
 わば横断的にその性質によって区分する分類方
 法で、地方団体の財政の構造上の特色やその良
 否を判断する場合に用いられる)の状況を表に
 まとめました。

目的別で見ますと、総務費は前年度比5,
 308万7千円の増となりました。ふるさと
 納税の寄附額増加に伴う返戻業務委託料が2,

920万1千円増加したほか、新型コロナウイルス
 感染症対策に係る電力・ガス食料品等の給
 付金事業を行ったことによるものです。

民生費は1億2,616万1千円の減となり
 ました。令和4年度は福祉基金への積立てを行
 わなかったこと、新型コロナウイルス感染症対
 策に係る給付金事業を総務費から支出したこと
 が主な原因です。

衛生費は3,272万4千円の減となりました。
 クリーンコスモ負担金について管理方法及び契
 約内容の見直しを行ったことなどによるもので
 す。

農林業費は、ほ場整備事業で4,327万6千
 円の減額などがあり、全体としては1,
 187万7千円の減となりました。

観光商工費は、2,278万8千円の増となり
 ました。道の駅白馬の土地購入や、ナイトシャト
 ルバスの運行再開・プレミアム付き商品券事業
 等の新型コロナウイルス感染症対応交付金事業
 を行いました。

土木費は前年度比2億5,067万9千
 円の大幅減となりました。除雪事業1億6,
 356万1千円減などによるものです。

教育費が1億4,267万8千円の増となつた
 のは、義務教育施設整備基金へ1億5,000万
 円の積立てを行ったことによるものです。

性質別で見ますと、物件費の増はふるさと納
 税事業の返礼業務委託料によるもの、維持補修
 費の減は除雪委託料によるものなど、前述の目
 的別で触れた内容が性質別での理由にもなつて
 います。

扶助費の減額は、臨時特別給付金や児童手当



【性質別歳出】

(単位：千円.%)

	令和3年度	令和4年度		
	決算額	決算額	構成比	増減率
人件費	1,030,600	1,037,358	15.5	0.7
物件費	1,032,856	1,171,817	17.5	13.5
維持補修費	491,945	328,548	4.9	△ 33.2
扶助費	535,406	409,590	6.1	△ 23.5
補助費	1,615,994	1,636,731	24.4	1.3
公債費	712,776	757,969	11.3	6.3
積立金	656,584	660,473	9.9	0.6
投資・出資・貸付金	20,000	15,000	0.2	△ 25.0
繰出金	362,201	368,083	5.5	1.6
普通建設事業費	389,027	315,172	4.7	△ 19.0
災害復旧費	1,287	0	0.0	△ 100.0
合計	6,848,676	6,700,741	100.0	△ 2.2

の減額によるものです。補助費は温泉施設燃料高騰重点支援事業など新型コロナウイルス感染症対策に係る事業により増額となっています。
普通建設事業はその名のとおり建設に関するものであり、道路改良事業、ほ場整備事業、学校環境整備事業などです。

【健全化判断比率】

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
白馬村	—	—	14.3	21.7
(早期健全化基準)	(15.0)	(20.0)	(25.0)	(350.0)
(財政再生基準)	(20.0)	(30.0)	(35.0)	(—)

令和4年度決算に基づく白馬村の健全化判断比率及び資金不足比率の公表

【資金不足比率】

水道事業会計	—
下水道事業会計	—
農業集落排水事業特別会計	—

※企業会計などの資金不足は該当がありませんでした。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和4年度決算数値から算定した財政健全化判断比率をお知らせします。
公表する指数のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率については関係する各会計での赤字、資金不足はありませんので、公表する数値はありませんでした。

実質公債費比率は14.3と前年に比べ1.2ポイント増加しました。指数は前2年度の数値を加えて3か年の平均値で算定します。これは、元利償還金が増加していることなどによるものです。

将来負担比率は21.7で前年度に比較して18.3ポイント改善しました。これは、地方債現在高や債務負担行為の支出予定額などから、基金残高などを差引くことで計算します。令和4年度は債務負担行為の額が増えましたが、地方債は元金償還額以上の新規発行債を抑制しており、また、基金残高も増えたことが原因です。

白馬村の健全化判断比率は他町村と比較して高めですが、財政的には問題のない範囲の数値となっています。しかし実質公債費比率は、今後も神城断層地震以降の大型事業債の償還が続くため、引き続き健全財政を堅持するよう努めます。

お問い合わせ 白馬村役場 総務課 電話：0261-72-7002

